

氏名	金さやか	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	慢性看護、リハビリテーション看護、心理学、眼科看護				
学位	修士（看護学）				
学歴	慶應義塾大学看護医療学部看護学科卒業 埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科看護学専修修了				
経歴	2014年東京工科大学助手、2015年埼玉県立大学助教				
所属学会（役職）	日本公衆衛生学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本視機能看護学会、リハビリテーション連携学会、日本健康医学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	著作なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	認知症の妻を介護する高齢の夫の介護課題とそのプロセス	共著	あり	日本認知症ケア学会誌, 21(2), 314-325	根岸貴子、金さやか、河村秋、角替由規、藤森京子	2022.7
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	看護場面での看護学生の情報獲得と思考過程の特徴－視線分析を用いた看護師との比較－	共同	日本看護学教育学会第32回学術集会、WEB開催	○會田みゆき、常盤文枝、山岸直子、金さやか、東口晴菜	2022.8	
2	後期高齢者である夫のシング介護の軌跡－重度認知症の妻の介護を通して－	共同	第42回看護科学学会学術集会、広島市	○根岸貴子、金さやか、松江なるえ、藤森京子	2022.12	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（若手研究B）	角膜移植レシピエントのQOL 評価尺度の開発		代表者	2017.4～2023.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	通所介護における生活行為の向上を視点としたマネジメントモデルの開発		分担者	2017.4～2023.3	
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	視線分析を用いた多重課題における臨床推論力を高める教育プログラムの開発		分担者	2020.4～2023.3	
4	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	生きづらさからの回復を支える-ナルコレプシー患者のための看護支援モデルの開発-		代表者	2021.4～2025.3	
5	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	通所介護における社会的自立を促進する自立支援型機能訓練マネジメントモデルの構築		分担者	2021.4～2024.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	成人看護学V		4	関節リウマチ、視覚障害者の看護をテーマに講義した。関節リウマチ患者のインタビュー動画を作成し、授業に活用した。また、視覚障害者団体・同行援護事業所の協力のもと、視覚障害者の実情を知らせるためのオリジナルの動画を作成し、授業で使用した。		

2	リハビリテーション看護	○	4	障害や慢性病とともに生きる人々を支える看護をテーマに授業を展開した。視覚障害へのリハビリテーションにおいては、視覚障害者に役立つアプリケーションの活用についても提案した。生活行為マネジメントの学習を通して、地域リハビリテーションについても考察できる授業を展開した。
---	-------------	---	---	--

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学Ⅴ		4	<p><u>医療機器による管理</u> 心電計を用いた心電図モニタリング、輸液ポンプやシリンジポンプによる輸液管理の演習を行った。少人数での演習を展開し、学生が機器に触れる時間を十分に確保できるよう工夫した。</p> <p><u>フィジカルアセスメント</u> 病院実習で行うことの多い技術である呼吸音の聴取、足背動脈の観察等の観察の技術を復習した。学生同士の練習だけでなく、シミュレーターも使用し、練習の機会を多く確保した。</p> <p><u>シミュレーション演習</u> 学生が患者に対する観察項目や観察の流れが理解できるようシミュレーション学習にて教授した。</p>
2	臨床実践看護		14	<p><u>輸液管理演習</u> ミキシング、アンプルからの吸い上げ、モデルに対する静脈注射を体験する授業を展開した。安全な薬物投与をテーマとしていたため、確認の6Rを徹底することを意識づけるよう授業内容を工夫した。</p> <p><u>陰部洗浄（おむつ交換）</u> 模擬便を作成し、より現実に近い状況設定を行った。</p> <p><u>多重課題演習</u> 複数患者を受け持ち時のスケジューリングのポイントを教授した。</p> <p><u>突発事象への対応演習</u> 同時に対応すべき複数の出来事の発生や、予期せぬ出来事が生じた場合への対処について机上・シミュレーションを用いて教授した。</p>

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学実習Ⅰ		2022.5～2022.6	急性期の看護を学ぶための実習として、手術室・HCU実習における指導を担当した。
2	成人看護学実習Ⅱ		2022.5～2022.6	入院患者の受け持ち実習を指導した。
3	総合実習		2022.7	入院患者の受け持ち実習を指導した。各学生の学習課題に基づいた学習ができるようフォローアップした。
4	IPW実習		2022.10	オンライン実習にて多職種連携による援助について学べるよう指導を行った。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022年2月～12月	主指導 2	副指導 名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県高齢者元気力アップ認証参加事業者向け研修会	埼玉県	心身機能の維持回復から社会参加に至るまでの戦略的自立支援ケアの実践	2022.10～2023.2
2	ナルコレプシー共同化プログラム	エーザイ	特発性過眠症患者の生活と課題	2022.12

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	NHKさいたま	FMラジオ「ひるどき!さいたま〜ず」テーマ「目の健康」	2022.10	
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	動物実験の倫理審査	2022.4～現在	
2	学科等における委員会等	総務委員（看護学科内の財務管理）	2022.4～2023.3	
3	学科等における委員会等	卒業研究運営	2022.4～現在	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			